

令和7年1月9日
国土交通省関東地方整備局
利根川下流河川事務所

第6回利根川下流部自然再生シンポジウム in 銚子を開催します

～水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える～

利根川下流部には日本の河川では最大級のヨシ原が広がり、希少かつ多様な生物の生息、生育、繁殖の場が形成され、最近ではコウノトリの飛来、繁殖も確認されています。この貴重な自然環境を再生するための整備や保全の取り組みを自治体と連携して行っており、その自然再生地は環境・体験学習を通じて地元中学生の学びの場ともなっています。

そこで、環境・体験学習に参加した地元中学生の皆さんをはじめ、各方面から専門家をお招きして「水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える」をテーマに自然や生態系を守り活用し、魅力を再認識し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを開催します。

- 1.開催日時：令和7年2月5日（水）13：00～15：30
- 2.場 所：千葉科学大学マリーナキャンパス 看護学部棟2階6201
（千葉県銚子市潮見町15-8）
- 3.定 員：会場 先着 100名 オンデマンド配信 先着 200名
- 4.応募方法
 - ・参加申し込み：別添チラシをご確認ください。
 - ・応募締切り：令和7年1月28日（火）
- 5.共 催：国土交通省 利根川下流河川事務所
千葉県銚子市・香取市・東庄町、茨城県神栖市
- 6.主な内容：
 - ・地元中学生による環境、体験学習の成果報告発表
 - ・各方面の専門家による講演やパネルディスカッション ※詳細は別紙参照

<発表記者クラブ> 千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 銚子記者会 香取記者クラブ
竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所

電話：0478-52-6361（代表） FAX：0478-52-9720

副所長 櫻井（内線：721-205）

流域治水課 建設専門官 田村（内線：721-402）

開催テーマ

水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える

基調講演

成すべき行動は 大人になるまで待たなくても良い

田中 謙次 一般社団法人 環境文化研究所 代表理事

話題提供

利根川の災害の記憶を未来に伝える 藤本 一雄 千葉科学大学 教授

利根川の歴史と文化、西洋に照らし合わせてみると 浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授

発表

利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して

東庄町立東庄中学校2年生 波崎第二中学校1年生 銚子市立銚子西中学校1年生

パネルディスカッション

コーディネーター 坂 有希子 鳥類専門家

パネリスト

越川 信一 銚子市長 田中 謙次 環境文化研究所 代表理事

藤本 一雄 千葉科学大学 教授 浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授

木村 佳美 銚子西中学校 教諭 小淵 康正 利根川下流河川事務所 事務所長

in
銚子



本シンポジウムは、土木学会CPD認定プログラムです。

受講証明書は、シンポジウム終了後のアンケートにご回答いただくことで、発行させていただきます。事前にご登録頂いたメールアドレスに受講証明書を送付いたします。

開催日

令和7年

2月5日 水 13:00 ▶ 15:30

受付開始 12:30 ~

締切

1/28
火

会場

千葉科学大学マリーナキャンパス 看護学部棟2階6201

参加費

無料

会場

先着
100名

オンデマンド
配信

200名

配信期間：2/17 ~ 3/7

参加
方法

事前登録

右記 QR コードの「申込み専用フォーム」
からお申込みください。



問合せ先

国土交通省
関東地方整備局 利根川下流河川事務所 流域治水課

TEL

0478-52-6366

担当

田村・降幡

共催



国土交通省 関東地方整備局
利根川下流河川事務所



千葉県
銚子市



千葉県
香取市



千葉県
東庄町



茨城県
神栖市

協力

千葉科学大学
千葉県内水面漁業協同組合連合会
茨城県内水面漁業協同組合連合会

都心から車で約 1.5 時間、成田空港から車で約 1 時間のところに、かつて日本のベネチアといわれた水郷があります。そこは湿地や水路が入り組み、利根川には国内最大級のヨシ原が広がります。広大なヨシ原は国内有数のコジュリン・オオセツカの棲かであることをはじめ、湿地や干潟には多くの希少種を含む多様な生物が生息・生育しています。しかし、近年は高水敷へのセイタカアワダチソウなどの外来植物が侵入するなど、ヨシ原や湿地が減少しています。

利根川下流では、自然環境を再生するための取り組みが 2013 年からスタートしました。「多様な生物の生息・生育場を育む、湿地・水際環境の保全・再生」として、千葉県と茨城県、利根川の両岸に広がるヨシ原や干潟・ワンドの再生を行ってきました。最近では、コウノトリが定着、繁殖も行われるようになってきました。この自然環境を次世代に継承するための取組として、再生した自然地での中学生による環境・体験学習が 2020 年から始まり、この場所を守るために何ができるか新たな魅力を発見する学びの場となっています。このような自然を再生する取組みや活用は、沿川地域にとっても水郷・利根川がさらに魅力的な場として認知され、地域振興につながることを期待されます。

そこで、環境・体験学習に参加した中学生の皆さんをはじめ、各方面から専門家をお招きして「水郷・利根川の魅力と地域とのつながりを考える」をテーマに自然や生態系を守り活用し、魅力を再認識し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを開催します。



会場参加

事前登録～開催当日までの流れ【先着100名】

1 事前登録

会場に参加するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 QR コード」より、お申込みください。
<https://forms.office.com/r/aafjPs01Rx>



2 開催当日

受付開始後～開始時刻前までに会場にお越し頂きまして、受付をお済ませください。

オンデマンド配信

事前登録～視聴（アンケート回答）までの流れ【200名】

配信期間：2/17（月）～3/7（金）

1 事前登録

オンデマンド配信を視聴するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 QR コード」より、お申込みください。
<https://forms.office.com/r/aafjPs01Rx>



2 登録完了メール

「事前登録」完了後、「登録完了メール」が届きます。届いたら、登録完了です。
※登録完了メールが届かない方は、下記事務局までお問合せください。

3 視聴 URL メール

事務局より、「視聴 URL」を付したメールを送付いたします。
「視聴 URL」をクリックして、配信期間内【2/17（月）～3/7（金）】にご視聴ください。
※視聴にかかるモバイルデータ通信費などは参加者の負担となります。有線接続もしくは Wi-Fi 接続の環境下でのご参加を推奨します。

4 アンケート回答

アンケートは、上記「3. 視聴 URL メール」に記載している「アンケート URL」をクリックしてご回答ください。
ご視聴後、アンケートは 令和 7 年 3 月 10 日（月）締切 までにご回答ください。

※個人情報は、本シンポジウムの連絡・受講証明書の発行以外には使用いたしません。

アクセス



利根川下流部自然再生シンポジウム 事務局

公益財団法人 河川財団

E-mail tonekaryu@kasen.or.jp

TEL 03-5847-8305

担当 津久井・小森